

白保魚湧く海保全協議会 平成24年度活動報告

◆自主事業及びしらほサンゴ村との連携事業

(1) 白保小学校、中学校の総合的な学習の時間への協力

白保小学校、中学校におけるサンゴ礁学習や環境教育の実施について、白保サンゴ村と協力して支援を実施した。具体的には、ギーラ（シャコガイ）のモニタリング調査やシュノーケルの指導を行った。



(2) 白保サンゴ礁での赤土堆積量調査の実施

年4回 白保サンゴ礁の27か所において海底の赤土の堆積状況を調べるために調査を実施した。白保の若者に呼びかけ、白保の人材だけで調査ができる体制が整いつつある。調査結果の解析と発信が課題である。なお、同事業はしらほサンゴ村よりの支援で実施している。



(3) ツアー等でのサンゴレクチャーの実施

クラブメッド川平の八重山自然文化ツアーやNPO夏花の受け入れる修学旅行などにおいて、白保のサンゴについての紹介や魚湧く海保全協議会委での取り組みを紹介するためのツアー受け入れを実施した。また、同レクチャーなどの充実を図るために、しらほサンゴ村、沖縄大学と協働でプログラム開発などに取り組んだ。



(4) 自然体験プログラムの開発

NPO夏花による白保村の活性化の取り組みと連携して、海の資源を使った白保体験プログラムの開発をしらほサンゴ村、沖縄大学と協力して実施した。特に、白保の小中学生を対象とした、やまんぐら自然学校として自然体験キャンプを実施し、修学旅行等の受け入れ可能性を検討した。

漁体験、シュノーケル体験については、実施場所、実施方法などについて事前の関係者との協議の必要性が明らかとなった。



(5) モデルツアーの受入実施

10月6日、7日にWWF 震災復興プロジェクトと連携し、宮城県南三陸町戸倉地区の中高生と白保の中学生が交流する「ふるさとの海交流会」の受け入れに協力した。また、2月（1校21名）及び3月（1校60名）の修学旅行受入を行った。



(6) 八重山の自然と暮らしの合同写真・ポスター展 in 与那国への参加

しらはサンゴ村をスタートに八重山を巡回展示する八重山の自然と暮らしの合同写真・ポスター展にポスターを出品した。また、与那国島のアヤミハビル館で開催された出展者の集いに参加した。



(7) 沖縄大学ジュニア研究支援発表会での取り組み紹介

沖縄大学地域研究所からの招へいで、沖縄大学ジュニア研究支援発表会において白保での取り組みを奄美、沖縄の小学生、高校生に向けて発表した。



(8) 海垣サミット in 奄美

2010年の白保での国際サミットに続く、奄美でのサミットに、魚湧く海保全協議会として参加し、白保での海垣の復元活用や協議会の取り組みを発表した。



(9) 農地周辺への月桃植え活動の推進

第3回目石垣島サンゴウィークで月桃植えを実施した。また、月桃の苗は、白保中学校で種から苗を作る仕組みとし、苗を中学校から買い上げることで、中学校の活動を支援する仕組みを構築した。



◆助成金事業（わくわくサンゴ石垣島プロジェクト）

(1) 取り組み概要

- ①助成団体：日本財団
- ②助成の内容

白保魚湧く海保全協議会の他、八重山漁業協同組合サンゴ養殖研究班、石垣島沿岸レジャー安全協議会、NPO法人沖縄エコツーリズム推進協議会の4団体が連携しながら、石垣島でのサンゴに関する環境教育を推進することで、サンゴ礁の保全と島の活性化につなげるためのもの。

②助成額

4団体がそれぞれ年間200万円×3年間で予定（+自己資金20万円程度）

③プロジェクトの内容

- ・目標：3年間の間で石垣島の全小学校でサンゴ学習を実施すること。
- ・白保魚湧く海保全協議会では、サンゴ水槽を設置し、水槽を使った学習プログラムを開発するとともに、小学校への水槽学習を提供する。また、ワタシ観察会、シュノーケル体験、グリーンベルトの植栽活動など白保魚湧く海保全協議会がこれまで取り組んできた活動を活かした学習機会の提供を図る。

④2012年の活動概要

◆事業目標の達成状況：

1. 石垣島唯一の生きたサンゴを見られる90cmサンゴ水槽の導入

年次目標として計画した「しらほサンゴ村」への常設サンゴ水槽の設置は、当初、60cmの水槽で計画していたがより大きな水槽で充実した生きたサンゴを見ながらの学習を行うため90cmに変更して導入した。導入に際しては、八重山漁協サンゴ養殖研究班からの技術指導を仰ぎ、同団体との連携により円滑に導入することができた。

また、導入過程をプログラム開発及び環境教育の重要な場と捉え、しらほこどもクラブ（白保小学校5年～白保中学校3年生までの希望者を対象とした自然・文化体験クラブ）を対象に、ライブロックの導入、サンゴの導入等の体験を行った。



2. 生きたサンゴを見ながらサンゴについて学ぶ、サンゴ水槽プログラムの開発

サンゴ水槽を活用した学習プログラムの開発については、白保魚湧く海保全協議会内にサンゴ水槽プロジェクトチームを設置し検討を進めた。プログラムの開発については、八重山漁協サンゴ養殖研究班や石垣島沿岸レジャー安全協議会などからの助言、アドバイスを受けるとともに、明石小学校など連携団体が実施するサンゴ学習プログラムへ参加することで、プログラムの内容検討の参考とした。

また、当協議会では、白保サンゴ礁の保全とその持続可能な利用による地域の活性化に向けて、WWFサンゴ礁保護研究センター、沖縄大学地域研究所などと協働を進めており、本プログラム開発についてもこれらの団体と進める事業とも連携を図りながら進めた。

特にプログラムの特徴としては、サンゴ水槽を使ったレクチャーだけではなく、赤土調査体験や月桃植えによるサンゴ礁保護活動との複合的な学習が有効であることが確認された。



3. サンゴやサンゴと関わる“サンゴ礁文化”の継承による地域の活性化

現在、白保集落ではサンゴ礁資源当地域の資源を活用した体験事業を提供するNPO法人夏花（なつばな）の設立申請中である。水槽学習プログラムも地域の活性化に貢献するためにサンゴ学習やサンゴ保護体験などを補完する活動として有望である。このため今後、NPO法人夏花との地域内連携も考慮して活動を進めたい。すでに本年度も実際に水槽を使いながら参加者の反応を確認し、プログラムにフィードバックするために、NPO等が誘致している各種のツアー等（クラブメッド、住友生命など）のレクチャーを積極的に受け入れた。



4. “里海づくり”のモデルとして全国各地での事例報告を実施

白保魚湧く海保全協議会は、当初事業計画に位置付けられた神奈川県での「横浜エコアクア」への参加と同イベントでの会の活動等の周知のためのパンフレットの作成、配布を行った。また、同パンフレットはWWFや沖縄大学など本会が協働している団体のイベント、シンポジウム、研究会等でも配布した。

また、八重山の自然と暮らしの合同写真・ポスター展、海垣サミットin奄美などの機会を利用してわくわくサンゴでの取り組みを発表した。



5. 白保魚湧く海保全協議会と他団体との連携

サンゴ学習やサンゴ保護活動、海の体験事業などで実績と経験を有する当協議会は、サンゴ水槽の導入を機に、既存の活動と水槽を使った学習の相乗効果を上げるためのプログラム開発に取り組んだ。

初年度はサンゴ養殖研究班からの水槽導入についての技術的な支援を受ける形での連携が進んでいる。本協議会の本来の目的は、白保集落に特化したサンゴや地域の保全と活性化であることから、石垣島全域等への展開には限界がある。しかし、本来、石垣島は集落ごとの結束が強く、地域の子供は、地域で育てる。地域の海は、地域が守るという考え方がある。

白保集落が取り組む地域主義の活動は、他地域での地域づくり、サンゴ保全と地域活性化の取り組みを進める上でのモデルとなると考えている。そのため連携事業の広報活動の中で、当協議会の趣旨等についても合わせて発信できる方向性を探りたい。

次年度は、日本財団よりの助成を活かして、本協議会が白保地域で蓄積したノウハウや経験を活かし、他の小学校、地域でのサンゴ学習の普及、サンゴの保全と地域活性化の波及のための取り組みを展開したい。



◆活動実施内容

1. サンゴ学習事業

○白保小中学校を対象としたサンゴ学習の実施

- ・白保中学校2年生（ギーラ、ウミガメ）レクチャー（23名）平成24年5月15日
白保中学校校長とサンゴ水槽を活用した学習について協議
- ・平成24年度サンゴ学習についての協議 with 白保小学校（3名）平成24年5月22日
6年生サンゴ学習、シュノーケル/5年生水質調査、赤土堆積量調査など決定
- ・ギーラモニタリング調査 白保中学校2年（23名）平成24年6月5日
- ・全国一斉水調査への参加 白保小学校5年（17名）平成24年6月18日
- ・白保小学校6年シュノーケル教室（プール）（17名）平成24年6月26日
- ・白保小学校6年サンゴレクチャー（17名）平成24年7月5日
- ・白保小学校6年サンゴ礁観察会（17名）平成24年7月9日
- ・白保中学校2年ギーラ海中標識制作（6名）平成24年8月14日
- ・白保中学校2年ギーラ海中標識設置（4名）平成24年8月15日
- ・白保小学校5、6年生ワタンジ観察会（43名）平成24年11月12日
- ・白保小学校5年赤土調査体験（22名）平成24年11月12日
- ・白保小学校6年生水槽学習（20名）平成24年11月15日
- ・白保小学校5年生赤土調査体験（22名）平成25年2月5日

※白保中学校、白保小学校での総合的な学習の実施は、WWFサンゴ礁保護研究センターと協働で実施している。



（ワタンジ観察会）



（赤土調査時のサンゴレクチャー）



（小6水槽学習）

○しらほどもクラブを対象としたサンゴ礁体験の実施

- ・みなと祭り見学及びウミガメ学習会、ウミガメ調査実施（13名）平成24年7月15日
- ・海でのカヌー、シュノーケル体験（12名）平成24年7月16日
- ・干潟のカニの生態について 平成24年8月6日
- ・やまぐらうキャンプ（11名）平成24年9月8日～9日塩の学習、海の昆虫、刺し網体験
- ・アンパル干潟観察会 平成24年11月10日（13名）
- ・水槽へのサンゴ導入とサンゴ水槽プログラム実施（13名）平成24年11月11日
- ・一年間の振り返り（13名）平成25年1月14日



（サンゴ導入体験学習）



（水槽学習）



（刺し網体験）

○その他のサンゴレクチャーの実施

- ・JICA研修の受け入れ（8名）平成24年6月4日
赤土流出防止対策関連レクチャー、現場視察、赤土堆積量分析研修
- ・クラブメッドサンゴレクチャー受け入れ（12名）平成24年6月26日

- ・修学旅行（開明中学校）レクチャー受け入れ（200名）平成24年7月1日、2日
- ・ティダヌファキャンプ（福島県小中学生）レクチャー（28名）平成24年7月25日
- ・ティダヌファキャンプ・シュノーケル体験（14名×2）平成24年7月26日、27日
- ・沖縄こども環境調査隊受け入れ（6名）平成24年8月8日
サンゴ礁学習、赤土対策現場視察、赤土堆積量分析体験
- ・大阪の私立中学校の修学旅行でのサンゴレクチャー受入（104名）平成24年9月1日
同上（102名）平成24年9月2日
- ・住友生命サンゴレンジャーレクチャー受入（23名）平成24年10月13日
- ・クラブメッドサンゴレクチャー受入（27名）平成24年11月4日
- ・クラブメッドサンゴレクチャー受入（18名）平成24年11月18日
- ・JICA研修の受け入れ（8名）平成24年11月29日
活動紹介、海垣シンポジウムの開催
- ・クラブメッドサンゴレクチャー受入（23名）平成24年12月16日
- ・玉川学園中学校サンゴレクチャー受入（10名）平成24年12月26日
- ・クラブメッドサンゴレクチャー受入（17名）平成25年1月13日
- ・クラブメッドサンゴレクチャー受入（40名）平成25年1月27日
- ・クラブメッドサンゴレクチャー受入（45名）平成25年2月10日
- ・クラブメッドサンゴレクチャー受入（39名）平成25年2月25日
- ・クラブメッドサンゴレクチャー受入（42名）平成25年3月10日



（こども環境調査隊）



（開明中学校）



（サンゴ保全 グリーンベルト）

2. 学習プログラム開発事業

○サンゴ水槽の設置

- ・離島ターミナル水槽見学（4名）平成24年4月11日
- ・ドリーム観光サンゴ水槽見学（6名）平成24年5月12日
- ・沖縄県関係者と協議（6名）平成24年5月15日 水槽へのギーラの導入など
- ・検討チームでの水槽に関する協議（7名）平成24年5月17日 水槽サイズの決定
- ・サンゴ水槽の組み立て（6名）平成24年6月21日
- ・サンゴ水槽水入れ（3名）平成24年6月26日
- ・水槽メンテナンス（水替え等）（1名）平成24年7月2日
- ・水槽砂入れ（3名）平成24年7月9日
- ・水槽ライブロックの設置（8名）平成24年7月14日
- ・メンテナンス（1名）平成24年7月21日、平成24年7月28日、平成24年8月10日、平成24年8月17日、平成24年8月25日、平成24年9月4日
- ・ナマコ、貝の導入（4名）平成24年9月11日
- ・メンテナンス（1名）平成24年9月22日、平成24年10月1日
- ・サンゴ導入（10名）平成24年10月3日
- ・サンゴ一部白化（2名）平成24年10月5日
- ・カルシュームリアクター設置（6名）平成24年10月9日
- ・サンゴ導入、CO2ボンベ設置（1名）平成24年10月16日
- ・メンテナンス（1名）平成24年10月23日、平成24年11月3日、平成24年11月8日
- ・サンゴ追加（13名）平成24年11月11日
- ・サンゴ最終導入（5名）平成24年11月13日
サンゴ水槽の基本的な導入の終了。
- ・メンテナンス（1名）平成24年11月～3月まで毎週金曜日実施。



(ライブロック導入)



(サンゴ苗の採集)



(サンゴ水槽完成)

○サンゴ水槽等サンゴ礁学習プログラム検討の実施

- ・ 沖縄大学との協議実施（沖縄大学 3 名、白保 1 名） 平成 24 年 4 月 26 日
 サンゴ礁学習プログラム（サンゴ水槽プロジェクト含む）について、盛口ゼミ 2 年生の参加の中で検討を進めることで合意した。
 ※なお、同協議はWWF サンゴ礁保護研究センターと沖縄大学地域研究所の白保の持続的な地域づくりに関する相互連携協定に基づき実施したもので、水槽プロジェクトの他に、白保自然体験プログラム作成について、盛口ゼミ 4 年生 2 名の参加で進めることとなっている。
- ・ サンゴ礁レクチャーに関する打合せ（3 名） 平成 24 年 6 月 14 日
- ・ サンゴ礁レクチャープレゼン資料作成（4 名） 平成 24 年 6 月 18 日
- ・ サンゴ礁レクチャープレゼン資料作成（5 名） 平成 24 年 6 月 20 日
- ・ サンゴ礁レクチャープレゼン練習（4 名） 平成 24 年 6 月 27 日
- ・ 沖縄大学との協議（沖縄大学 5 名、白保 1 名） 平成 24 年 6 月 29 日
- ・ 沖縄大学 2 年生等とのサンゴ礁プログラムについてのワークショップの開催（14 名）
 平成 24 年 9 月 9 日、10 日
- ・ サンゴ養殖研究班によるサンゴレクチャーの見学（1 名） 平成 24 年 10 月 11 日
 同上（1 名） 平成 24 年 10 月 12 日
- ・ 白保集落とサンゴ礁の関わり紹介リーフレット制作への協力
 平成 24 年 11 月 13 日、14 日

※WWFプロジェクトの中で魚湧く海保全協議会、沖縄大学等と協働で実施するものであるが、水槽学習にも使用できるように本プロジェクトと連携しながら作成を行なうものとする。

3. 島内外告知活動

- ① 「横浜エコアクア」
 日時：平成 24 年 9 月 14 日～17 日
 場所：神奈川県「横浜赤レンガ館」
 参加者（3,000 名）
- ② 環境学習交流発表会
 日時：平成 24 年 11 月 30 日
 場所：石垣市 八島小学校
 参加者（150 名）
- ③ 八重山の自然と暮らしの合同写真・ポスター展 in 与那国交流会
 日時：平成 25 年 1 月 29 日
 場所：与那国町 アヤミハビル館
 参加者：（13 名）
- ④ 沖縄大学ジュニア研究支援発表会
 日時：平成 25 年 2 月 23 日
 場所：那覇市 沖縄大学
 参加者（100 名）
- ⑤ サンゴウィーク サンゴカフェ
 日時：平成 25 年 3 月 10 日
 場所：石垣市 しらほサンゴ村
 参加者（30 名）
- ⑥ 海垣サミット in 奄美
 日時：平成 25 年 3 月 23 日
 場所：奄美市 奄美博物館
 参加者（120 名）

4. 主要な活動日程

<4月>

- 4月1日 飯舘・白保こども交流会・最終日
白保日曜日
4月8日 わくわくサンゴプロジェクト（サンゴ水槽）打合せ
4月10日 わくわくサンゴプロジェクト・キックオフミーティング

<5月>

- 5月9日 白保魚湧く海保全協議会・会計監査
5月15日 白保小学校総合的な学習の時間ギーラ授業について打合せ・水産試験場
5月16日 ギーラ密漁対策協議・沖縄県
5月17日 白保魚湧く海保全協議会・NPO 設立協議
5月25日 白保魚湧く海保全協議会・総会
5月28日 白保小学校総合的な学習の時間協議

<6月>

- 6月4日 白保魚湧く海保全協議会・JICA 研修受け入れ
6月5日 白保中学校総合的な学習の時間（ギーラ、ウミガメ講義）
6月10日 白保魚湧く海保全協議会 赤土堆積量調査（春季）実施
6月18日 サンゴレクチャー教材についての打合せ
6月20日 サンゴレクチャー教材についての打合せ
6月21日 養殖サンゴ水槽の設置
6月25日 水槽水入れ
6月26日 白保小学校6年生総合的な学習の時間 プールでのシュノーケル講習
6月27日 サンゴレクチャーの模擬練習（白保魚湧く海保全協議会）

<7月>

- 7月1日 大阪の中学校のサンゴレクチャー受入
7月2日 大阪の中学校のサンゴレクチャー受入
7月5日 白保小学校6年生総合的な学習の時間サンゴ学習
7月9日 白保小学校6年生サンゴ礁シュノーケル観察会
サンゴ水槽へライブサンド（海中で養生した砂）を投入
7月16日 しらほこどもクラブ海遊び（カヌー体験）
7月17日 わくわくサンゴプロジェクト（日本財団より助成を受けて、サンゴ水槽を設置するプロジェクト）関連団体全体会議
7月27日 ていだぬふぁキャンプ（福島小中学生受入）協力・シュノーケル観察
7月28日 ていだぬふぁキャンプ（福島小中学生受入）協力・シュノーケル観察

<8月>

- 8月6日 しらほこどもクラブ・カニに関するレクチャー
8月7日 白保魚湧く海保全協議会・理事会
8月8日 沖縄タイムスこども環境調査隊受入（赤土レクチャー、月桃植えなど）
8月14日 ギーラ標識作成（白保中学校）

8月15日	ギーラ標識設置及び海藻除去作業（白保魚湧く海保全協議会）
<9月>	
9月7日	やまぐうキャンプ準備
9月8日	やまぐうキャンプ（レクチャー；塩の話、刺し網体験、キャンプ） 赤土堆積量調査（夏季）
9月9日	やまぐうキャンプ（レクチャー；虫の話、海遊び） サンゴレクチャープログラム検討ワークショップその1
9月10日	やまぐうキャンプ（沖縄大学サンゴ礁観察） サンゴレクチャープログラム検討ワークショップその2
9月15日～17日	横浜赤レンガ倉庫エコアクア派遣
9月18日	恩納村漁協視察派遣
<10月>	
10月4日	月桃植え手配、海垣漁の準備
10月6日～7日	南三陸町～白保ふるさとの海交流会 開催
10月13日～15日	住友生命サンゴレンジャー受入
10月27日	東京のIT企業社員ボランティアによるグリーンベルト植栽受入（糸芭蕉 200本）
<11月>	
11月4日	海浜清掃
11月10日	赤土堆積量調査（秋季）
11月11日	しらほこどもクラブ アンパル干潟観察、サンゴ水槽学習
11月12日	白保小学校5、6年生ワタンジ観察会、5年生赤土堆積量調査
11月13日	サンゴ養殖場視察
11月15日	白保小学校6年生サンゴ水槽学習
11月28日	JICA フィールド視察及び赤土調査実習受入
11月29日	JICA レクチャー及び海垣サミット受入
11月30日	こどもサンゴ礁学会（小学校学習交流発表会） 東京農業大学グリーンベルト植栽受入
<12月>	
12月17日	白保魚湧く海保全協議会理事会
12月23日	海浜清掃
12月27日	玉川学園中学年サンゴ研修受け入れ
<1月>	
1月12日	サンゴレンジャー植栽月桃の管理
1月14日	しらほこどもクラブ 沖縄大学最終授業
1月28日～29日	与那国合同写真・ポスター展交流会
1月30日	赤土流出防止対策視察受け入れ（琉球大学）
1月31日	石西礁湖自然再生協議会
<2月>	
2月5日	白保小学校赤土調査
2月15日	平安高校修学旅行受入 月桃植え、農家体験

2月23日 沖縄大学地域研究所ジュニア研究支援発表会
2月28日 月桃苗づくり
白保魚湧く海保全協議会理事会

<3月>

3月5日～6日 立命館高校修学旅行受入 レクチャー、月桃植え、シュノーケル、漁体験等
3月5日～5月 八重山の自然と暮らしの合同写真・ポスター展
3月10日 サンゴウィーク 月桃植え、サンゴカフェ
3月16日 赤土堆積量調査（冬季）
3月22日～25日 海垣サミット in 奄美